

# 6 火災が発生した時の行動

## (1) 知らせる

火災が発生した時に一番最初に行わなければならないことは、「火事だ！」と叫び周囲に知らせることです。

声が出ないときは物をたたくなどをして音を出して知らせましょう。

また、自動火災報知設備などの非常ベルがあれば、ボタンを押して鳴らしましょう。

### ア 119番通報の仕組み

火災や救急等の要請のため、札幌市内で119番に電話をすると、近くの消防署ではなく、消防指令管制センターにつながります。

電話を受けた指令管制員が、住所等の必要事項を聞き取り、出動する消防車や救急車を選定し、出動指令をかけます。

# イ 119番通報の仕方

## <通報で伝えなければいけないこと>

- ① 火事か救急か
- ② 住所はどこか
- ③ 何が（誰が）どうなっているか
- ④ 自分の名前、電話番号

電話を受ける指令管制員は、正確な住所を確認すると、電話の最中でも消防隊や救急隊を出動させます。

あわてることなく、落ち着いてはつきりと答えてください。



## (2) 消火

### ア 消火器による消火

初期消火には消火器が有効です。

一般的な消火器は、粉末消火器と  
いって、消火薬剤によって消火しま  
す。



### イ 消火器の使用方法

#### (ア) 火元まで運ぶ

まずは、消火器を持って火元ま  
で落ち着いて運びます。



(イ) ピンを抜く



(ウ) ホースを外し火元に向ける



(エ) レバーを強く握る



## 【消火器を使用する際の注意点】

- ① 運ぶ前にピンを抜かない。
- ② 炎が天井に達していれば、直ちに避難する。
- ③ 消火が困難で逃げる時のため、逃げ口を事前に確保する。

### <壁が燃えているとき>

燃えている上方からかける。



### <室内が燃え広がったとき>

窓やドアを閉めて避難する。

部屋の外側から室内に向けて放射することも効果的です。



## ウ 着ている服に火がついたときの

### 消火方法

自分が着ている服に火がついた時に火を消す方法です。幼児には、「ぴたっ ばたっ ごろごろん」と教えています。

#### (ア) ぴたっ (止まって)

火が服についたままパニックになって走ると風が起こり、かえって火の勢いを大きくしますので走らずに止まります。



## (イ) ばたっ (倒れて)

地面に倒れることにより、燃えているところを地面に押しつけ、体と地面をくっつけるようにします。



## (ウ) ごろごろん (転がって)

地面に倒れて、転がることにより、燃えているところを地面に押しつけます。



### (3) 煙からの避難

#### ア 煙の危険性

火災で命を落とす原因で多いのが「一酸化炭素中毒」です。

火災で発生する煙には有毒な一酸化炭素が含まれています。

一酸化炭素を吸い込むと意識がもうろうとし、やがて呼吸ができなくなるなどして、死に至る危険があります。

#### イ 煙のスピード

煙は上にのぼるスピードは毎秒3～5mとかなり速く、人が階段を登るよりはるかに速いので、迅速な避難が必要です。



## ウ 避難の方法

(ア) 煙の中では、姿勢をできるだけ低くして逃げます。

※床上 20cm くらいは、煙の濃度も薄く、視界も少しは開け、新鮮な空気も残っています。

(イ) ハンカチやタオルがあれば口にあてるなどして、できるだけ煙を吸わないようにします。

(ウ) 煙で周囲が見えにくい時は、壁をさわりながら逃げます。



- (I) 一度逃げたら絶対に戻らない。  
※火災は、時間が経つにつれ拡大していきます。
- (オ) エレベーターがあっても、途中で止まることがあるので、使用しないで階段を利用します。
- (カ) 旅行先では、宿泊した施設の避難口や避難階段を必ず確認しておきます。

### ◎住宅用火災警報器の重要性



住宅などで設置が義務付けられており、火災が発生した際に、熱や煙を感知して音で知らせてくれるのが住宅用火災警報器です。

就寝中などで、火災の発生に気づかず煙を吸ってしまい逃げ遅れることを防ぎます。

火災が発生しても、電池切れなどで警報器が作動しないおそれがあるため定期的に点検しましょう。